



2022年1月21日

各 位

上場会社名 リョービ株式会社
 代表者 代表取締役社長 浦上 彰
 (コード番号 5851)
 問合せ先責任者 執行役員 経営企画本部副本部長
 兼 財務部部長 有廣 弘
 (TEL 03-3501-0511)

通期業績予想の修正並びに減損損失（連結決算）及び
 関係会社株式評価損等（個別決算）の計上に関するお知らせ

当社は、2021年10月19日に公表しました2021年12月期通期連結業績予想につきまして、最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り修正しましたのでお知らせします。

また、2021年12月期通期の連結財務諸表において固定資産の減損損失を計上するとともに、個別財務諸表において関係会社株式評価損等を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2021年12月期通期連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	202,000	△1,800	△700	△600	△18.54
今回発表予想（B）	198,000	△1,400	0	△4,400	△135.93
増減額（B－A）	△4,000	400	700	△3,800	－
増減率（％）	△2.0	－	－	－	－
（参考）前期通期連結実績 （2020年12月期）	170,973	△1,789	△35	△697	△21.54

(2) 修正の理由

2021年12月期通期の連結業績予想につきまして、世界的な半導体不足や東南アジア地域を中心とした新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う自動車部品の供給不足が当社ダイカスト事業の得意先である自動車メーカー各社の生産へ影響を与え、想定よりも当社の受注量が減少したため、売上高は前回発表予想より減少する見込みです。営業利益・経常利益については原価低減や経費削減に努めた結果、前回発表予想を上回りますが、一方、親会社株主に帰属する当期純利益については、下記2に記載の通り、減損損失を計上するため、前回発表予想を下回る見込みです。

2. 固定資産の減損損失（連結）について

当社の連結子会社であるリョービアルミニウムキャスティング(UK), LIMITED は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた得意先の生産減少やこれに伴う工場稼働率の低下により、収益性が悪化しております。そのため、直近の業績動向を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が保有する固定資産（土地・建物・機械設備等）の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、減損損失として3,994百万円（金額は概算）を特別損失に計上する見込みです。

3. 関係会社株式評価損等（個別）について

上記2に記載しました減損損失を計上することに伴い、当社が保有する連結子会社リョービアルミニウムキャスティング(UK), LIMITED の株式の実質価値が著しく低下するため、当社は関係会社株式評価損1,678百万円を特別損失に計上する見込みです。また同社は2021年12月末時点において3,391百万円の債務超過となる見込みのため、これに対し当社は貸倒引当金繰入額1,554百万円及び債務保証損失引当金繰入額1,837百万円を計上する見込みです。

なお、当該関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額（金額は概算）は当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

以 上